

同期機諸定数調査専門委員会
設置趣意書

回転機技術委員会

1. 目的

1998 年から 2017 年の間に、日本国内にて製作された同期機の諸定数を調査し、技術動向を把握すると共に、系統解析等に有効な同期機のデータ蓄積を図る。

2. 背景および内外機関における調査活動

同期機の定常及び過渡特性は、リアクタンスや時定数等の同期機諸定数を用いて表す事が出来る。

特に、同期発電機は電力系統の最も重要な機器であるので、同期機諸定数の実態を把握しておく事が重要である。

この観点から、電気学会では定期的に同期機諸定数の実績調査を行ってきており、過去に 1970 年 (1960 年～1969 年)、1983 年 (1970 年～1979 年)、1999 年 (1980 年～1997 年)、に 3 回調査が実施されている。尚、前出の () 内が、同期機の諸定数調査期間である。

前回調査より既に 19 年が経過していることから、今回は 1998 年～2017 年の 20 年間の実績調査を実施するものである。

3. 調査検討事項

日本国内で製作された同期機の最新動向について、系統解析への適用をも視野に入れて整理し、対象機種 の要綱・諸定数を調査検討する。

4. 予想される効果

本委員会活動により、近年の同期機の技術動向が、確認出来、系統解析等に有効活用が期待される。

5. 調査期間

平成 30 年 (2018 年) 4 月～平成 32 年 (2020 年) 3 月

6. 委員会の構成 (職名別の五十音順に配列)

職 名	氏 名	(所 属)	会員・非会員区分
委員 長	阿曾 俊幸	(東芝エネルギーシステムズ)	会員
委 員	岡田 雅之	(日立三菱水力)	会員
同	加藤 理	(電源開発)	会員
同	北内 義弘	(電力中央研究所)	会員
同	小杉 優介	(東芝三菱電機産業システム)	会員
同	坂本 織江	(上智大学)	会員
同	杉丸 卓行	(東京電力フュエル&パワー)	会員
同	田村 淳二	(北見工業大学)	会員
同	中村 嘉孝	(西芝電機)	会員

同	水本 貴之	(富士電機)	会員
同	村松 大輔	(明電舎)	非会員
同	山本 修	(職業能力開発総合大学校)	会員
幹 事	泉 昭文	(三菱電機)	会員
同	西岡 宗光	(関西電力)	会員
幹事補佐	麻生 大樹	(三菱日立パワーシステムズ)	会員

更に、公募により若干名を募集する。

7. 活動予定

委員会	6回/年	幹事会	2回/年
見学回	2回/年		

8. 報告形態 (調査専門委員会は必須)

技術報告をもって成果報告とする。